

## 電子情報通信学会から 2016 年安全・安心な生活と ICT 研究会「優秀研究賞」を受賞しました(2017/03/02)

テーマ：ICT, 安全・安心, 災害情報, 受賞  
URL : <http://www.ieice.org/ess/ictssl/>

電子情報通信学会では、安全・安心な生活のための情報通信システムに関する諸技術を真に役立つ技術とするためには、各技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討が必要であることから、安全・安心な生活のための情報通信システムに関係する諸技術及び社会科学分野の研究者、技術者が集まり、研究交流、情報交換、相互啓発を行い、効率の良い学際的な研究開発の促進することを目的として、「安全・安心な生活とICT研究専門委員会」が設置されています。本研究専門委員会では、発表に関する表彰として、優秀な研究（優秀研究賞）、学生や若手への賞（研究奨励賞）、現場での実証や事例に関する研究を奨励するための賞（安全・安心ベストプラクティス賞）といった受賞制度があります。

この度、当研究所の佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）と今村文彦教授（災害リスク研究部門）が、「研究優秀賞」を受賞しました。2016年は、第1回研究会（2016年6月14・15日@東北大学）、ソサイエティ大会（2016年9月22日@北海道大学）、第2回研究会（2016年10月20・21日@大阪大学）の3つの研究会が開催され、それぞれの研究会において投票が行われた結果をもとに受賞者が決定されました。受賞制度が始まって、初めての受賞という記念すべき受賞になりました。受賞対象となった研究発表は、次のものです：

「2015年台風17・18号災害における宮城県内自治体によるソーシャルメディア発信の内容分析」 佐藤翔輔・今村文彦, 信学技報 Vol.116, No. 92, pp.35-37, 2016.6.14



佐藤翔輔助教

(2016年6月の研究発表の様子)



賞状

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）